

実施・達成状況結果報告書及び評価書

平成 27年 3月 2日

ワーキンググループリーダー 結城 和久

実施年度	平成 26 年度
ワーキンググループ名	インターンシップ等推進ワーキンググループ
グループの目的	インターンシップ事前教育の体系化、ならびに広域インターンシップの推進と専門人材育成
グループの目標	インターンシップを地域貢献のための人材育成強化として、より効率的に活用するために 1、2 年次における事前教育を充実させるとともに、山口県外でのインターンシップを強化するために【テーマ B】での事業を通じて中四国地域での連携を進めていく。更に上記の活動等を通し、インターンシップ専門人材の育成をはかる。

[ 達成状況評価 ]

目標項目	目標達成状況	自己評価
1 年次、2 年次における事前教育の充実	1年次、2 年次における事前教育を充実させ、3 年次におけるインターンシップ参加率を上げるため以下の項目について実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップ事前研修の実施 (OB による講演会 (2 企業))</li> <li>・ インターンシップを意識した工場見学 (2 企業)</li> <li>・ 山口県インターンシップ推進協議会と連携した事前研修 (3 回参加)</li> </ul>	ほぼ達成している
中四国地域での広域連携強化	・ テーマ B の中で継続的に議論中	ほぼ達成している
専門人材の育成	文科省および学生支援機構主催のインターンシップ専門人材育成のための研修会への参加 (4 回)	十分に達成されている

※ 「目標項目」は「グループの目標」に基づいてさらに具体的な項目を策定する。

【推進本部会議評価】

評価	評価コメント
概ね趣旨を反映した事業遂行が図られた	インターンシップの事前教育を充実したことは評価できる。山口県外への広域連携を推し進めており、今後の成果に期待する。

推進本部会議委員長

酒井 吉雄



【評価委員会最終評価】

評価	評価の理由
概ね適合している	インターンシップを人材育成強化に活用するため、事前教育を着実に実行している。中四国地域との連携、受け入れ産業界との密接な連携を推し進めてインターンシップ専門人材の育成に繋げることを期待している。

評価委員会委員長

稲垣 詠一

